

報道関係者 各位

平成 28 年 10 月 21 日

【照会先】

職業能力開発局 能力開発課

課長 波積 大樹

主任職業能力開発指導官 福岡 洋志

課長補佐 溝口 悦子

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 5962)

(直通電話) 03(3595)3406

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構

雇用開発推進部長 國分 一行

雇用推進課長 小林 祐之

(直通電話) 043(297)9516

## 第 36 回 全国障害者技能競技大会（アビリンピック）を開催します ～ 22 種目で、373 名の選手が技能を競い合います～

山形県と独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構では、障害のある方々が日ごろ培った技能を互いに競い合う「第 36 回 全国障害者技能競技大会（アビリンピック）」を、10 月 28 日（金）から 30 日（日）まで、山形県天童市の山形県総合運動公園と山形市の山形ビッグウイングで開催します。（大会概要は別紙 1、競技スケジュールは別紙 2 を参照）

この大会は、障害のある方々の職業能力の向上を図るとともに、企業や一般の人々に障害者への理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることなどを目的として、昭和 47 年から国際大会開催年を除き毎年開催されています。

第 36 回大会では、全国から 373 名の選手が参加し、「ビルクリーニング」「ワード・プロセッサ」「喫茶サービス」など全 22 種目で技能を競い合います。また 22 種目とは別に、雇用拡大が期待される「クリーニング」「ケーキデコレーション」の 2 職種では技能デモンストレーションが実施されます。

今大会は、4 年に 1 度開催される国際アビリンピックの選考会を兼ねています。今大会と第 37 回大会の金メダリストは、第 38 回大会（平成 30 年度に沖縄県で開催予定）の競技にも参加し、成績が優秀だった場合は、平成 31 年度に開催が予定されている第 10 回国際アビリンピック（開催地は調整中）の日本代表選手に選ばれます。

また、この大会と合わせ「障害者ワークフェア 2016」を開催します。これは障害者の就労を助ける機器などの展示や実演、アビリンピック競技種目の体験などを通じ、障害者の雇用と能力開発への理解と認識を深める総合的イベントです。（別紙 3 参照）

## 【概要】

1. 日程	平成 28 年 10 月 28 日（金）～30 日（日）
・開会式	10 月 28 日（金）10 時 00 分～11 時 30 分 山形県総合運動公園（山形県天童市山王 1-1） 総合体育館メインアリーナ
・競技(技能デモン ストレーション)	10 月 29 日（土） 9 時 00 分～17 時 00 分 第 1 会場：山形県総合運動公園総合体育館サブアリーナ・剣道場・ 屋内多目的コート 第 2 会場：山形ビッグウイング（山形県山形市平久保 100）多目的集会 場・交流サロン
・閉会式	10 月 30 日（日）9 時 30 分～11 時 30 分 山形県総合運動公園総合体育館メインアリーナ
2. 参加者	15 歳以上の障害者
3. 主催	山形県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
4. ホームページ	<a href="http://www.jeed.or.jp/disability/activity/abilympics/index.html">http://www.jeed.or.jp/disability/activity/abilympics/index.html</a> <a href="http://yamagata-wazaou.jp/">http://yamagata-wazaou.jp/</a>

- 別紙 1 第 36 回アビリンピック概要
- 別紙 2 技能競技等実施スケジュール
- 別紙 3 障害者ワークフェア 2016 の概要

### アビリンピック（ABILYMPICS）とは

「アビリティ（ABILITY「能力」）」と「オリンピック（OLYMPICS）」を合わせた造語です。障害がある人々の職業能力の向上を図るとともに、企業や一般の人々に障害者への理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催しています。

## ○アビリンピックの競技風景（平成 26 年度開催の第 35 回愛知大会より）



都築弘さん（DTP）

先天性両上肢欠損ながら、足を使って、多くの人々に目を向けさせる工夫を凝らしたデザインをコンピューター上で作成します。



奥村優さん（電子機器組立）

身の回りにある多くのものには電子機器が搭載され、各種制御が行われています。そのようなハイテク技術の一端を担っている電子機器を組み立てる技術を競います。

## ○国際アビリンピックの競技風景（平成 27 年度開催の第 9 回フランス・ボルドー大会より）



香川貴宏さん（義肢製作）

義肢製作種目では、疾病や事故などにより失った手や足の外観や機能を補完する人工の手・足などを作成する技術を競います。



柳本佑さん（歯科技工）

歯科技工では、失われた歯を審美的・機能的に回復するため、人工材料を使って義歯を作成する技術を競います。



第9回国際アビリンピックで金メダルを獲得し、安倍内閣総理大臣から表彰される香川さんと柳本さん